

頰動脈狭窄症に対するステント留置術の研究について

この度海老名総合病院脳神経外科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的脳神経疾患のうち、脳卒中は人口動態統計において死亡原因の上位を占めており、その一次・二次予防は極めて重要な課題である。脳卒中の原因となる脳血管障害の中でも、頰動脈狭窄症は外科的・血管内治療により脳卒中発症リスクの低減が可能な疾患である。とりわけ、頰動脈狭窄症に対する頰動脈ステント留置術は、低侵襲な治療法として確立され、臨床現場において広く施行されている。近年では、デバイス技術の進歩により新たなステントが次々と開発されている一方で、それらの治療成績や長期予後に関する実臨床データは十分に蓄積されているとは言い難い。そこで本研究では、頰動脈狭窄症に対してステント留置術を施行した患者を対象とし、治療後の予後および長期成績と、患者背景、病変特性、治療関連因子などの各種因子との関連について後方視的に検討することを目的とする。
2. 研究方法
 - 1) 研究対象：2014年4月1日から2030年12月31日の間に、海老名総合病院に通院または入院した頰動脈狭窄症の診断がついた患者
 - 2) 実施期間：2026年1月1日～2030年3月31日
 - 3) 研究方法：治療後の予後および長期成績と、患者背景、病変特性、治療関連因子などの各種因子との関連について後方視的に検討する
 - 4) 研究成果の公表：未定
3. 試料・情報
電子カルテからのデータ(身体所見、画像、検査結果、治療内容など)
4. 外部への試料・情報の提供
個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。
データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスはID・パスワード等、適切に管理しています。
収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。
5. 本研究責任者およびお問合せ先本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名：海老名総合病院

住所：神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話：046-233-1311

研究責任者：診療部 脳神経外科 阿南 英典